

1. 7号機における燃料洗浄作業について

<過去の経緯>

- 原子炉内に混入した異物（配管清掃等に使用するワイヤブラシ※の素線等）の影響により、燃料棒の被覆管に微小な孔が空いたと推定される事象を過去に確認【スライド4参照】
- 上記のような事象の発生を極力防止することを目的として、2020年6月、異物混入の可能性が高いと推定される古い燃料集合体166体の燃料洗浄を実施
2020年に実施した洗浄では、ワイヤブラシの素線等の微小な物を回収（2020年5月28日、7月9日お知らせ済み）

※金属製のワイヤで作られたブラシで、一般的に金属面の錆落としや研磨作業などで使用される。
発電所では設備のメンテナンスで使用していたが、燃料に傷をつけるリスクがあることから、2011年6月以降全面禁止とした。

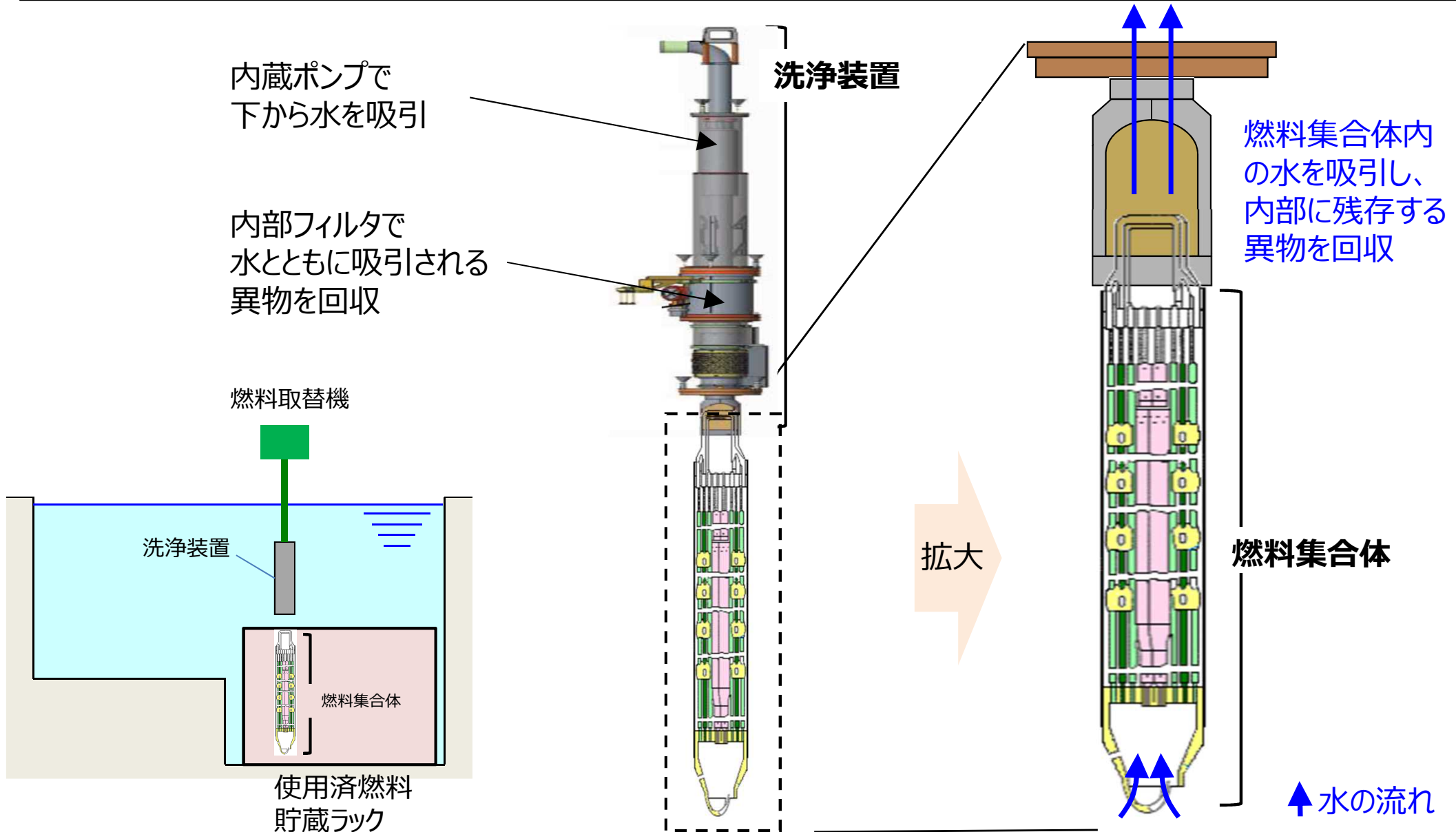
<今回の作業>

- 2020年は、異物混入の可能性が高いと推定される燃料集合体の洗浄を優先的に実施したが、更なる安全性向上のため、前回実施していない**492体**※についても**燃料洗浄を実施予定**
- 燃料洗浄へ向けた準備作業の中で、使用済燃料の上部にシート片らしき物を発見したため、今後回収予定【スライド5参照】
- 他にも同様の物がないか、燃料取替機上部から使用済燃料プール内の確認を行ったうえで、洗浄作業を開始予定
- 洗浄作業によって回収された物については、作業が全て終わった後に取りまとめてお知らせ

※装荷する燃料872体のうち再使用する燃料集合体は658体。すでに燃料洗浄を行った166体を除く492体が対象。

2. 燃料洗浄作業の概要

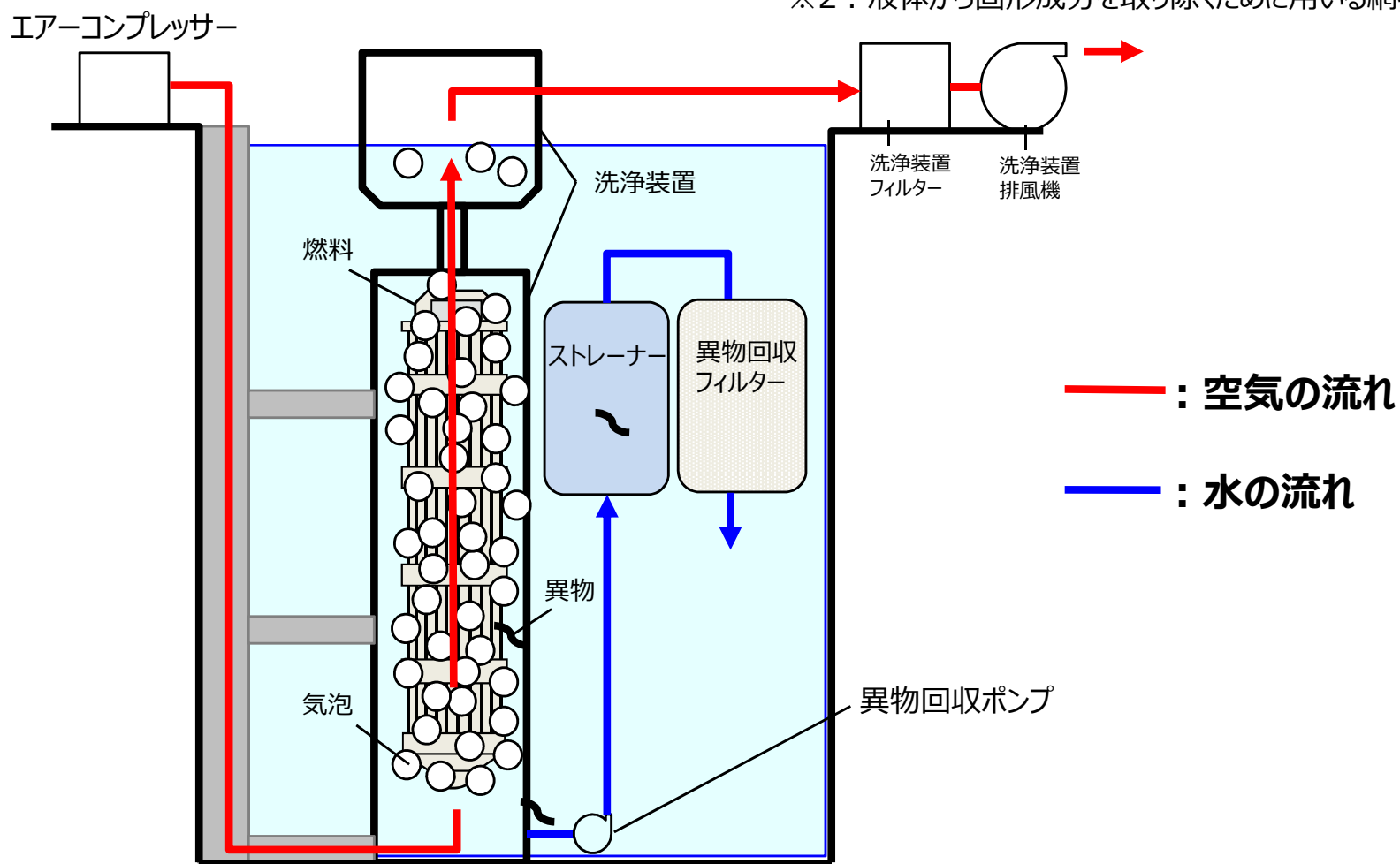
- 使用済燃料貯蔵ラックに貯蔵している燃料の上部位置まで、燃料取替機にて洗浄装置を移動させ、燃料上部に被せた状態で内部の吸引洗浄を実施



<参考> 2020年に実施した燃料洗浄作業の概要

- 燃料集合体を洗浄装置内へ移動
- 燃料下部からエアーを注入し、バブリング※1によって異物を除去
- エアーバブリングを停止すると、取れた異物が燃料プール下部に沈殿
- 異物回収ポンプにより異物をストレーナー※2・異物回収フィルターで回収

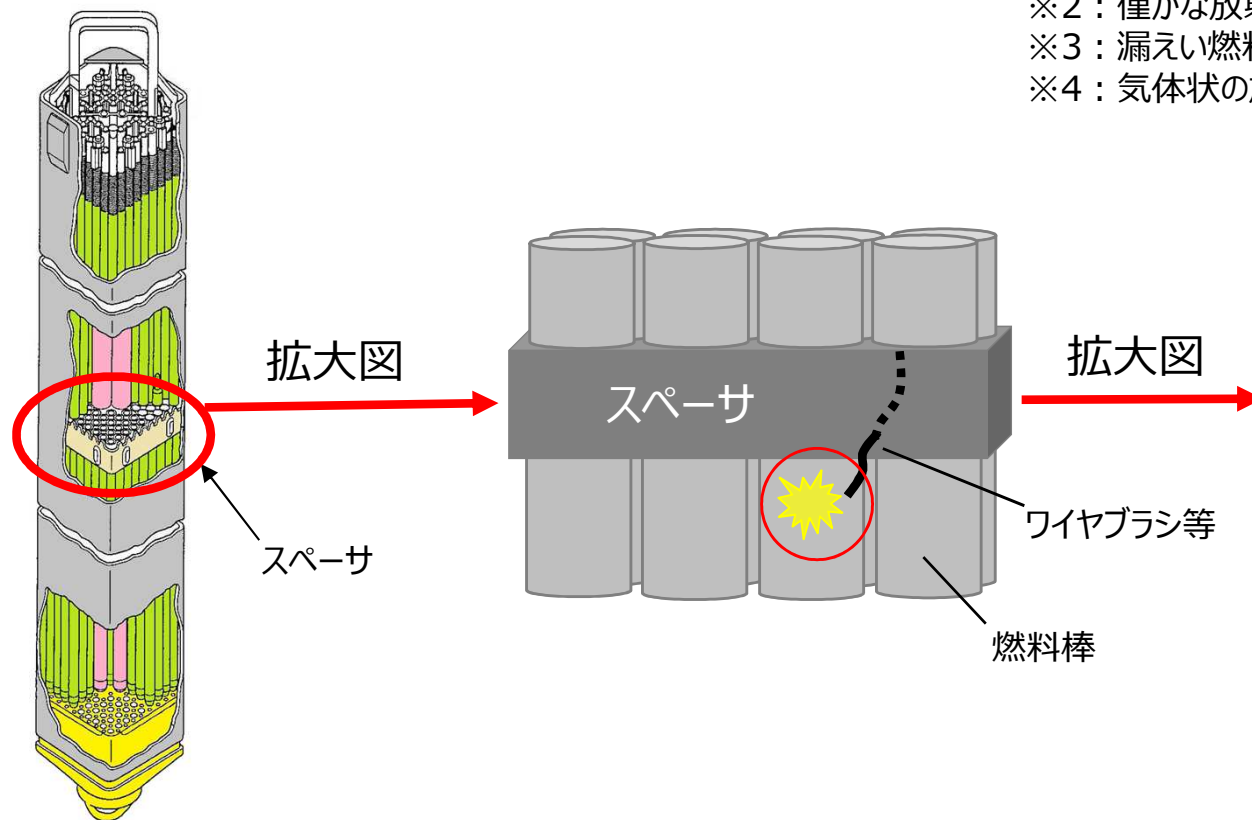
※1：液体中に気体を送気することで気泡を発生させること
※2：液体から固形成分を取り除くために用いる網状の装置



<参考> 漏えい燃料発生メカニズム

- 燃料棒を束ねているスペーサ※1に異物（ワイヤブラシの素線等）が引っかかると、運転中に起こる炉心の水の流れにより、引っかかった異物が振動。燃料棒の被覆管に微小な孔をあけ、放射性物質が漏えい
- 仮に運転中に漏えい燃料が発生した場合、高感度オフガスモニタ※2にて早期に漏えいを検知し、出力抑制法※3によって燃料棒からの放射性ガスの放出を抑制
- また、放出ガスは気体廃棄物処理系※4を經由して主排気筒から放出されるため、主排気筒の排ガス放射線モニタ測定値に変動は生じない

燃料集合体



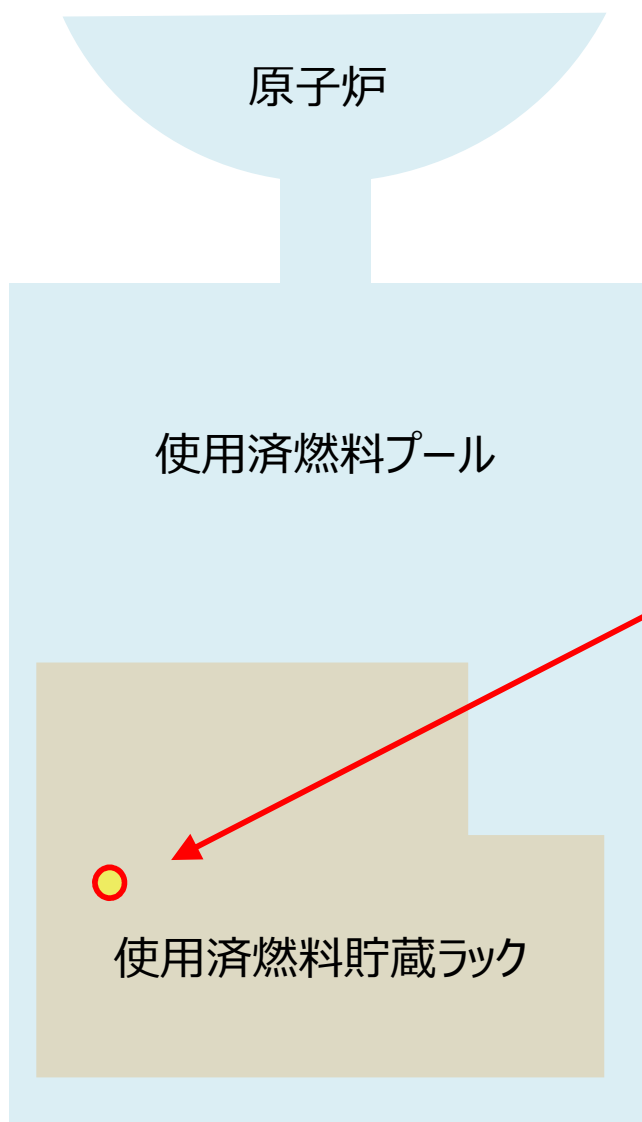
※1：燃料棒と燃料棒の間を所定の間隔に保つための部品

※2：僅かな放射性物質を感知できる装置

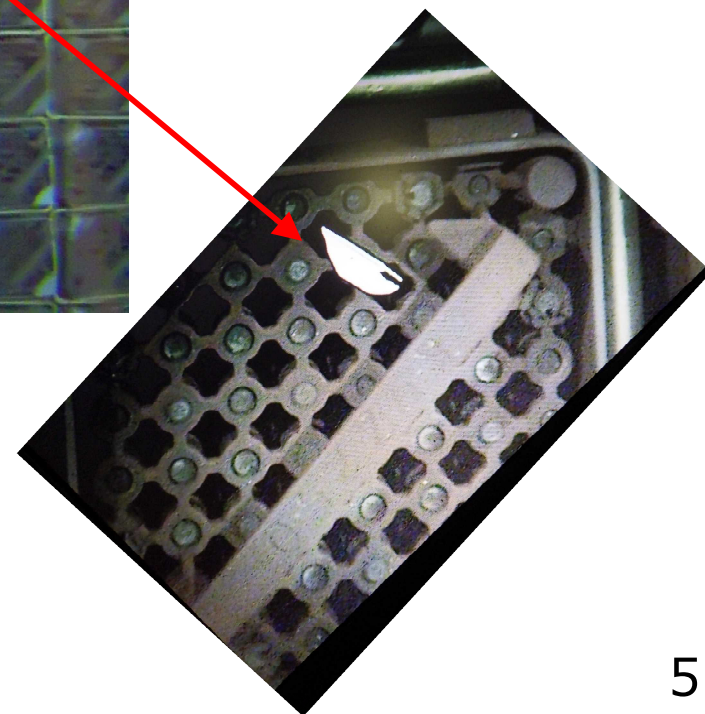
※3：漏えい燃料近傍の制御棒を挿入して漏えい燃料の出力を抑制

※4：気体状の放射性物質等処理する系統

<参考> 燃料洗浄へ向けた準備中に発見したシート片らしき物



シート片らしき物
(約3cm × 約1cm)



4つの課題の進捗状況について

- 4つの課題については、有効性を確認したのから順次、原子力規制庁へ報告を実施する方針
- 「1.正常な監視」と「3.変更管理」は、是正処置完了を原子力規制庁へ報告し、検査を受検中
- **「2.PPCAP」は、構築した仕組みの有効性を確認したことから、11/6に是正処置完了を原子力規制庁へ報告**
- 「4.一過性のものとしなない取組」は、構築した仕組みについて、更なる改善を進めながら有効性評価を実施中

| 課題 | 取組の進捗状況 |
|-----------------------------------|---|
| 1. 正常な監視の実現 | <ul style="list-style-type: none">不要警報が多いセンサについて、個別の原因特定・対策を行う仕組みにより低減目標の達成を概ね継続荒天時における監視強化体制を構築し、実動訓練を継続実施構築した仕組みについて有効性を確認したことから、9/1に原子力規制庁へ「是正処置完了の報告」を実施し、検査を受検中 |
| 2. 実効あるPPCAPの実現 | <ul style="list-style-type: none">CR簡便起票ツールの整備やCR起票に関する啓発活動を通じてCR起票数が増加教育や会議運営の見直しにより議論が活性化構築した仕組みの有効性を確認したことから、11/6に原子力規制庁へ「是正処置完了の報告」を実施し、今後、検査を受検予定 |
| 3. 改善された変更管理の運用の徹底 | <ul style="list-style-type: none">問題点を指摘いただいた「変更管理案件：15件」についてCRを起票の上で不適合処置を完了済同問題点を踏まえて変更管理マニュアルを改訂した上で適切な変更管理の運用を実施変更管理については構築した仕組みの有効性を確認したことから、8/22に原子力規制庁へ「是正処置完了の報告」を実施し、検査を受検中※ |
| 4. 実効性のある行動観察を通じた一過性のものとしなない取組の実践 | <ul style="list-style-type: none">モニタリング室を設置し、所員及び協力企業社員の行動や振舞いの観察を実施中 社長指示や改善措置評価委員会からの指導・助言等をもとに、改善を実施中構築した仕組みについて、更なる改善を進めながら有効性評価を実施中 |

※課題3の完了報告後、モニタリング室から核セキュリティ部門に対し、一部の変更管理案件において有効性評価の計画時期が更新されていないとの指摘があり、計画時期の管理を強化する対策を展開。本事案については、原子力規制庁に対策を含めて報告済

プレス公表（運転保守状況）

2023年11月9日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

| | | | |
|-----|---|----|-------------------------------|
| 発生日 | 2023年10月25日 | | |
| 号機 | 5 | 件名 | 使用済燃料プール内での金属製物質の確認について（区分：Ⅱ） |
| ① | <p>【事象の発生】 2023年10月23日午前10時頃、原子炉関係の作業準備をしていた協力企業作業員が5号機原子炉建屋最上階にある使用済燃料プール底部に、リング状の物質があることを確認しました。 調査の準備を整え、本日（10月25日）、水中カメラにて周辺を確認した際、当該物質とは別のリング状の物質と金属製物質を確認いたしました。 それぞれ使用済燃料プールから引き上げたところ、リング状の物質はいずれもゴム状の物質であり、燃料の健全性および機器へ影響を与えるものではないことを確認しております。 金属製物質についても、使用済燃料プール内には流れがないため、燃料に直接的な影響はないと判断しております。 今後、回収物の詳細確認を行うとともに、使用済燃料プール内に混入した原因を調査し、再発防止対策を講じてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（2023年10月25日にお知らせ済み）</p> | | |

【参考】プレス公表 継続対応件名リスト

| | | | | | |
|----|---|----|--|-----|------------|
| 号機 | 5 | 件名 | 原子炉建屋1階ケーブルトレイ貫通部からの空気の流れの確認について（区分：Ⅲ） | 発生日 | 2022年8月17日 |
| 号機 | 6 | 件名 | 中央制御室換気空調系給気エアフィルタ破損について（区分：Ⅲ） | 発生日 | 2023年8月8日 |

不適合情報

2023年10月11日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 11件

| NO. | 号機等 | 不適合事象 | 発見日 | 備考 |
|-----|-----|--|------------|----|
| 1 | 1号機 | 原子炉建屋換気空調設備点検の原子炉建屋給気隔離弁(B)点検において、電磁弁に微量な空気の漏えいを確認した。当該電磁弁を交換。 | 2023/09/27 | |
| 2 | 1号機 | 復水移送ポンプ吸込圧力計の校正において、指示値の管理値逸脱および指針の動作不良を確認した。当該圧力計を交換。 | 2023/09/06 | |
| 3 | 1号機 | コントロール建屋地下2階(管理区域)南西コーナーの非放射性ドレン移送系配管に微小な孔の発生および水溜まり(約600cc、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。受けパン設置済み。止水カップリングにより応急処置済み。当該配管を交換。 | 2023/10/06 | |
| 4 | 5号機 | 原子炉建屋付属棟(非管理区域)北西階段室に、誘導灯の不点灯(1箇所)を確認した。当該誘導灯を交換。 | 2023/10/04 | |
| 5 | 7号機 | 中央制御室の防災監視盤に、原子炉建屋地下3階(管理区域)配管室のアナログ式煙感知器感度補正異常の警報の発生を確認した。当該感知器を交換し復旧済み。 | 2023/09/23 | |
| 6 | 7号機 | 原子炉建屋2階(管理区域)北東通路開口部脇の壁面に、アンカーボルトが残置されていることを確認した。設置者を特定し対応を検討。 | 2023/09/07 | |
| 7 | 7号機 | 取水口除塵装置洗浄水ポンプ(A)ケーシングカバー内のドレン弁ハンドルに破損を確認した。当該弁のハンドルを交換。 | 2023/09/28 | |
| 8 | その他 | 大湊側補助ボイラー(4A)点検の計器電源の電圧測定において、出力電圧が管理値を逸脱していることを確認した。調査の結果、計器電源本体の劣化と推定。当該計器電源装置を修理。 | 2023/10/02 | |
| 9 | その他 | 直流給電車(β号車)修理前の確認において、整流器(1-2ユニット)に故障を示すランプの点灯を確認した。整流器を1-4ユニットに切替復旧済み。当該ユニットを交換。 | 2023/09/21 | |
| 10 | その他 | 使用済燃料輸送容器垂直二重吊具の改造検討において、使用済燃料輸送容器と吊具の合計重量が原子炉建屋天井クレーンの定格荷重を超え、4号機および5号機では使用出来ないことを確認した。吊り具に定格荷重超過の注意喚起を表示。当該吊具の改造要否を検討。なお、4号機および5号機での使用実績がないことを確認済み。 | 2023/09/28 | |
| 11 | その他 | 大容量送水車定例試験後の片付け作業において、車内の床面に水中ポンプホースリール用油圧配管からの漏えい(約100cc)があることを確認した。拭き取りおよび中和剤を散布し処理済み。配管を取外し閉止栓を取付け漏えいを停止。当該配管を修理。なお、漏えいは車内のみで、構外(港湾)への流出がないことを確認済み。 | 2023/10/06 | |

不適合情報

2023年10月12日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 1件

| NO. | 号機等 | 不適合事象 | 発見日 | 備考 |
|-----|-----|--|------------|----|
| 1 | 4号機 | 荒天による取水口除塵装置運転後の停止状況確認において、洗浄ポンプ(B)が逆転していることを確認した。調査の結果、ストレーナー(B)逆止弁の開固着によるものと推定。当該逆止弁を交換。 | 2023/10/06 | |

不適合情報

2023年10月13日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 7件

| NO. | 号機等 | 不適合事象 | 発見日 | 備考 |
|-----|-----|--|------------|----|
| 1 | 1号機 | コントロール建屋換気空調補機冷却系主冷水ポンプ(C)停止操作時、冷水ポンプ吸込圧力計指針にずれを確認した。当該圧力計を交換。 | 2023/10/06 | |
| 2 | 2号機 | 原子炉建屋付属棟(管理区域)北東固化系階段室に、誘導灯の不点灯(1箇所)を確認した。当該誘導灯を交換。 | 2023/10/06 | |
| 3 | 4号機 | 原子炉建屋付属棟(管理区域)南西階段室(地下3階)に、誘導灯の不点灯(1箇所)を確認した。当該誘導灯を交換。 | 2023/10/08 | |
| 4 | 4号機 | 原子炉建屋付属棟(管理区域)南西階段室(地下2階)に、誘導灯の不点灯(1箇所)を確認した。当該誘導灯を交換。 | 2023/10/08 | |
| 5 | 6号機 | 原子炉水張り作業において、残留熱除去系注入弁(B)閉止後に原子炉水位が上昇していることを確認した。調査の結果、残留熱除去系注入弁(B)のシートパスと推定。当該注入弁を点検・修理。 | 2023/10/05 | |
| 6 | その他 | 荒浜側雑固体廃棄物焼却設備建屋(管理区域)西側階段室に、誘導灯の不点灯(1箇所)を確認した。当該誘導灯を交換。 | 2023/10/05 | |
| 7 | その他 | 協力企業作業員が雨具を取りに作業現場から事務所へ戻り、業務車から降車してドアを閉めた際、左手薬指先を挟み負傷。出血があったことから業務車にて病院に搬送。診察の結果、左環指挫創と診断された。当該事象を発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止を徹底。 【2023年10月11日公表済み】 URL: https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2023/2023101101p.pdf | 2023/10/10 | |

不適合情報

2023年10月16日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 6件

| NO. | 号機等 | 不適合事象 | 発見日 | 備考 |
|-----|-----|---|------------|----|
| 1 | 1号機 | No. 1純水タンクの圧力計指示値が、水位が同じNo. 2純水タンクより高いことを確認した。経年劣化による圧力計の指示不良または検出器配管閉塞による指示不良と推定。当該圧力計および配管を点検・修理。 | 2023/10/04 | |
| 2 | 2号機 | 中央制御室において、監視用テレビモニタ装置(A)の液晶ディスプレイに映像が表示されないことを確認した。調査の結果、モニタ制御装置の電源装置の不具合と判明。当該電源装置を交換。 | 2023/10/07 | |
| 3 | 5号機 | 屋外環境でのコンセント点検において、東側第二保管場所車両固縛装置のコンセントにわずかな錆の発生、コンセントキャップの劣化を確認した。当該設備を点検し対応を検討。 | 2023/08/15 | |
| 4 | 5号機 | 原子炉建屋付属棟(管理区域)南西階段室に、誘導灯の不点灯(1箇所)を確認した。当該誘導灯を交換。 | 2023/10/10 | |
| 5 | 6号機 | 変圧器類焼防止装置配管の圧力計元弁が、腐食して脱落していることを確認した。当該弁の上流弁を閉止し、配管を隔離。当該弁を点検し対応を検討。なお、付近の消火栓が使用可能であることから消火機能に問題なし。 | 2023/10/02 | |
| 6 | 6号機 | 変圧器類焼防止装置配管の圧力計元弁および空気抜き弁に腐食を確認した。当該弁の上流弁を閉止し、配管を隔離。当該弁を点検し対応を検討。なお、付近の消火栓が使用可能であることから消火機能に問題なし。 | 2023/10/02 | |

不適合情報

2023年10月17日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 5件

| NO. | 号機等 | 不適合事象 | 発見日 | 備考 |
|-----|-----|--|------------|----|
| 1 | 5号機 | 廃棄物処理設備中央制御室において、高電導度廃液系多重伝送現場盤に異常を示す警報の発生を確認した。調査の結果、伝送現場盤電源ユニットの不具合と推定。当該電源ユニットを点検・修理。 | 2023/10/12 | |
| 2 | 7号機 | 中央制御室の防災監視盤において、原子炉建屋屋上(北側)の火災報知器が動作したことを確認した。ただちに現場を確認し炎や煙がないことを確認。調査の結果、定例試験中の非常用ディーゼル発電機の排気が感知器側に流れていたことから、熱・煙の影響を受けたものと推定。当該感知器の性能確認を実施。 | 2023/10/13 | |
| 3 | 7号機 | 火災報知器停止作業からの復旧において、感知器中継器(4台)の断線および原子炉建屋南側系統の非常ベルが鳴動しないことを確認した。当該中継器(3台)を予備品と交換し、非常ベルを復旧済み。なお、予備品のなかった1台については、プラント内放送設備(拡声装置)を非常ベルの代替に設定し、交換部品が納入次第交換予定。 | 2023/10/13 | |
| 4 | その他 | 水処理設備制御用空気圧縮機(B)のドレン弁が、全開操作後に全開できなくなったことを確認した。圧縮機(B)を停止。調査の結果、弁ハンドルが空回りしていることから、弁の動作不良と推定。当該ドレン弁を交換。 | 2023/10/08 | |
| 5 | その他 | 荒浜側雑固体焼却設備セラミックフィルタ(A)洗浄作業において、1次セラミックフィルタパルス逆洗圧力が通常値まで上昇せず、逆洗作業ができないことを確認した。調査の結果、逆洗装置レギュレーターの不具合と推定。当該レギュレーターを交換。 | 2023/10/12 | |

不適合情報

2023年10月18日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 3件

| NO. | 号機等 | 不適合事象 | 発見日 | 備考 |
|-----|-----|---|------------|----|
| 1 | 1号機 | 高電導度廃液系収集タンク(A)のドレン弁を開操作しても、排水されないことを確認した。調査の結果、ドレン配管の詰まりと推定。当該配管を清掃。 | 2023/10/13 | |
| 2 | 6号機 | 高電導度廃液系収集ポンプ(C)のドレン弁およびケーシングドレン弁を開操作しても、排水されないことを確認した。調査の結果、ドレン配管の詰まりと推定。当該配管を清掃。 | 2023/10/13 | |
| 3 | 7号機 | 主蒸気逃がし安全弁点検において、弁吊り上げ用電気チェーンブロック(A)(B)に動作不良を確認した。調査の結果、ロードチェーンが破損していることが判明。当該チェーンブロックを点検およびチェーンを交換。 | 2023/09/30 | |

不適合情報

2023年10月20日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 7件

| NO. | 号機等 | 不適合事象 | 発見日 | 備考 |
|-----|-----|---|------------|----|
| 1 | 1号機 | サービス建屋換気空調系冷凍機の運転切替において、冷水ポンプ(B)がコントロールスイッチで起動しないことを確認した。調査の結果、冷凍機からの操作では自動起動するためコントロールスイッチの接点不良と推定。当該スイッチを交換。 | 2023/10/14 | |
| 2 | 4号機 | 非常用ディーゼル発電機燃料移送ポンプ(C)メカニカルシール下部に、油滴の付着および受けパンに油膜を確認した。拭き取り実施済み。調査の結果、メカニカルシールからの微量な油の漏えいと推定。当該燃料ポンプを点検・修理。なお、非常用ディーゼル発電機の機能に影響なし。 | 2023/10/06 | |
| 3 | 4号機 | 非常用ディーゼル発電機燃料移送ポンプ(A)メカニカルシール下部に、油滴の付着および受けパンに油膜を確認した。拭き取り実施済み。調査の結果、メカニカルシールからの微量な油の漏えいと推定。当該燃料ポンプを点検・修理。なお、非常用ディーゼル発電機の機能に影響なし。 | 2023/10/06 | |
| 4 | 7号機 | 換気空調補機非常用冷却水系冷凍機の運転切替(B→D)において、冷凍機(D)が凝縮器冷媒圧力高の警報を発生し自動停止したことを確認した。調査の結果、冷凍機(D→B)の運転切替では異常はなかったものの、凝縮圧力調節計の開度指示値に差があったことから、冷媒凝縮圧力調節計の制御不良と推定。当該圧力調節計を点検・修理。 | 2023/10/10 | |
| 5 | 7号機 | 電解鉄イオン注入系電極および弁点検にともなう水抜きにおいて、タービン補機冷却海水系側流量計後ドレン弁を開したところ、排水されないことを確認した。系統洗浄により排水を確認したものの、ドレン弁にシートパスが発生していることを確認した。当該ドレン弁を交換。 | 2023/10/16 | |
| 6 | 7号機 | 原子炉建屋2階(管理区域)主蒸気トンネル室において、作業前安全点検を行っていた協力企業作業員が床面に置いた書類を取り上げようと屈んだ際に、壁面近傍に設置されていた手動弁に右頬が接触し負傷したことを確認した。管理区域退域後、応急処置室にて絆創膏を貼付。当該事象の原因を調査し、関係者に注意喚起。 | 2023/10/16 | |
| 7 | 7号機 | 主蒸気逃がし安全弁点検において、弁吊り上げ用電気チェーンブロック(A)に動作不良を確認した。調査の結果、ロードチェーンブレイキの不具合と推定。当該チェーンブロックを点検・修理。 | 2023/10/03 | |

不適合情報

2023年10月23日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 3件

| NO. | 号機等 | 不適合事象 | 発見日 | 備考 |
|-----|-----|---|------------|----|
| 1 | 6号機 | 原子炉建屋最上階(管理区域)東側壁面への使用済燃料貯蔵プール外部注水配管壁貫通のための穴開け作業において、埋設接地線を切断したことを確認した。管理図により埋設を確認していたものの、試掘で接地線を確認できないまま作業したことが原因と推定。当該接地線を修理。 | 2023/10/18 | |
| 2 | 7号機 | ウェルライナー dren 漏洩検出配管液位計の弁を閉操作したところ、弁軸が折損したことを確認した。弁の固着および弁棒の劣化によるものと推定。当該弁を交換。 | 2023/10/06 | |
| 3 | その他 | モニタリングポスト(No. 5、8)建屋において、熱感知カメラの警報の発生を確認した。ただちに現場を確認し、炎や煙がなかったことから誤報と判断。調査の結果、駐車していた業務車や配管カバープレートの反射を誤検知したものと推定。当該事象の対策について検討。 | 2023/10/18 | |

不適合情報

2023年10月25日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 5件

| NO. | 号機等 | 不適合事象 | 発見日 | 備考 |
|-----|-----|--|------------|----|
| 1 | 1号機 | 所内蒸気系母管(002ライン)蒸気凝縮水排水装置に、流体力音が継続して発生しているものの、排水音の発生がないことを確認した。調査の結果、排水装置の動作不良と推定。当該排水装置を点検・修理。 | 2023/10/11 | |
| 2 | 5号機 | サービス建屋(管理区域)化学用カウンティング室用空調機室付近の階段室に、誘導灯の不点灯(1箇所)を確認した。当該誘導灯を交換。 | 2023/10/18 | |
| 3 | 5号機 | 原子炉建屋付属棟地下2階(管理区域)放射性廃棄物処理区域換気空調系排気ダクトの風量測定用リベット部に、空気吸い込みを確認した。養生テープで閉塞し仮処置済み。当該箇所を点検・修理。 | 2023/10/12 | |
| 4 | 7号機 | 変圧器防災装置起動試験終了後の排水作業において、排水ポンプ(B)小容量電源盤故障の警報が発生し、電源盤のポンプ電動機過電流継電器が動作していたことを確認した。当該事象の原因を調査し点検・修理。 | 2023/10/20 | |
| 5 | その他 | 直流給電車(β号車)点検において、整流器(2-2、2-3ユニット)に故障を示すランプの点灯を確認した。整流器を2-4ユニットに切替え仮復旧済み。当該ユニットを交換。 | 2023/10/13 | |

不適合情報

2023年10月26日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 10件

| NO. | 号機等 | 不適合事象 | 発見日 | 備考 |
|-----|-----|--|------------|----|
| 1 | 1号機 | No. 1およびNo. 2ろ過水タンクのブロー管およびオーバーフロー管に、腐食を確認した。当該配管を修理。 | 2023/10/19 | |
| 2 | 1号機 | 500kV送電盤に、1号母線保護2系装置不良の警報の発生を確認した。調査の結果、主継電器中央演算装置基板の不良と推定。当該基板を交換し復旧済み。 | 2023/10/21 | |
| 3 | 1号機 | コントロール建屋1階(非管理区域)高圧炉心スプレイ系非常用ディーゼル発電機ディタンク室前に水溜まり(約250cc)を確認した。拭き取り実施済み。受けパン設置済み。調査の結果、雨水が排気管の保温材から滴下していることが判明したものの、雨水の浸入経路は不明であった。今後、浸入経路を調査し修理。なお、非常用ディーゼル発電機の機能に影響なし。 | 2023/10/21 | |
| 4 | 2号機 | 貝処理建屋内の取水口除塵装置トレンチ排水ポンプ電源盤が濡れていることを確認した。調査の結果、天井からの雨水の浸入を確認した。充電部への被水なし。拭き取り実施済み。ビニールシートで被水養生を実施。当該箇所を点検・修理。 | 2023/10/20 | |
| 5 | 4号機 | 酸素ボンベ建屋(屋外)天井に、雨水の浸入および水溜まり(約1リットル)を確認した。当該箇所を点検・修理。 | 2023/10/21 | |
| 6 | 5号機 | 原子炉建屋付属棟(管理区域)南西階段室に、誘導灯の不点灯(1箇所)を確認した。当該誘導灯を交換。 | 2023/10/19 | |
| 7 | 6号機 | 変圧器横のバルブピットでの作業において、変圧器類焼防止装置配管の腐食を確認した。当該配管を修理。 | 2023/10/13 | |
| 8 | 6号機 | 125V(B)蓄電池の定例点検において、No. 30セルの電解液比重が管理値を下回っていることを確認した。なお、単電池電圧は管理値以内であり機能に影響はないため継続監視。 | 2023/10/20 | |
| 9 | 6号機 | タービン建屋地下2階(管理区域)復水ろ過装置逆洗用空気貯槽室南東側の壁面に、ひび割れ(2箇所)からの地下水の染み出しおよび水溜まり(約1リットル、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。当該箇所を点検・修理。 | 2023/10/23 | |
| 10 | その他 | 9月～10月に実施した試料放射能測定装置(Ge、3台)の取替えにおいて、メーカーでのCo-60線源強度入力値に誤りがあり、相対効率の判定に影響はないものの、値が低目(最大0.2%程度)に出ることを確認した。当該測定装置の使用を禁止し、正しい線源強度を入力。既測定結果の評価を行い、放射性核種の検出有無判定に影響のないことを確認済み。また、当該測定装置データを使用しての対外報告書は未作成のため、対外報告への影響なし。 | 2023/10/20 | |

不適合情報

2023年10月27日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 1件

| NO. | 号機等 | 不適合事象 | 発見日 | 原子炉安全の観点から見たグレード |
|-----|-----|---|------------|------------------|
| 1 | 5号機 | 10月23日、原子炉建屋最上階(管理区域)で作業に従事していた協力企業作業員が、使用済燃料プール底部にリング状の物質があることを確認した。10月25日に水中カメラにて周辺を確認した際、当該物質とは別のリング状の物質と金属製物質があることを確認。使用済燃料プールから回収したところ、リング状の物質はいずれもゴム状の物質であり、燃料の健全性および機器へ影響を与えるものではないことを確認。金属製物質についても使用済燃料プール内には流れがないため、燃料に直接的な影響はないと判断。今後、回収物の詳細確認を行うとともに、使用済燃料プール内に混入した原因を調査し再発防止対策を徹底。 【2023年10月25日公表済み】 URL: https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2023/2023102501p.pdf | 2023/10/23 | — |

3. G III グレード 4件

| NO. | 号機等 | 不適合事象 | 発見日 | 備考 |
|-----|-----|---|------------|----|
| 1 | 3号機 | 高圧炉心スプレー系非常用ディーゼル発電機排気管伸縮継手の点検において、ガスケット割れ(2箇所)および排気ガス漏れ(2箇所)、ボルト・ナットの脱落(1箇所)を確認した。当該ガスケット、ボルト・ナットを交換。なお、非常用ディーゼル発電機の機能に影響なし。 | 2023/10/23 | |
| 2 | 4号機 | 所内使用電力の積算データ確認において、6.9kV高圧電源盤(3SB-2)連絡母線(4C、4D、4H)電力量計指針の固着を確認した。当該電力量計を交換。なお、他の電力量計で使用量が確認可能なため、機能に影響なし。 | 2023/10/23 | |
| 3 | 5号機 | 海水熱交換器建屋1階(非管理区域)南東側壁面に、雨水の浸入を確認した。拭き取り実施済み。受けパン設置済み。当該箇所を点検・修理。 | 2023/10/21 | |
| 4 | その他 | 荒浜側雑固体廃棄物焼却設備排気筒放射線モニタに、トリチウムサンプリング装置(A)故障の警報が発生し、サンプルポンプ(A)が停止したことを確認した。調査の結果、異臭や異常な発熱、流量およびヒーター制御に異常がないことを確認。当該事象の原因を調査し点検・修理。なお、サンプルポンプ(B)が運転中のため、サンプリングに影響なし。 | 2023/10/23 | |

不適合情報

2023年10月30日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件**2. G II グレード 1件**

| NO. | 号機等 | 不適合事象 | 発見日 | 原子炉安全の観点から見たグレード |
|-----|-----|---|------------|------------------|
| 1 | 1号機 | 中央制御室において、B系非常用換気空調系制御盤異常および中央制御室冷凍機故障の警報が発生し、中央制御室冷凍機(B)が自動停止していることを確認した。調査の結果、冷凍機・油ポンプまたは当該機器の計器の不具合と推定。当該事象の原因を調査し点検・修理。なお、A系に異常はなく、換気空調機能に影響なし。 | 2023/10/22 | G II |

3. G III グレード 2件

| NO. | 号機等 | 不適合事象 | 発見日 | 備考 |
|-----|-----|--|------------|----|
| 1 | 1号機 | サービス建屋換気空調系冷凍機(B)が、起動/停止を繰り返していることを確認した。調査の結果、凝縮圧力変換器の不具合による調整弁の動作不良と推定。当該変換器を点検・修理。なお、冷凍機(A)に異常はなく、機能に影響なし。 | 2023/10/14 | |
| 2 | 3号機 | 6号機非常用ディーゼル発電機で発生したOリング破断の水平展開として、高圧炉心スプレイ系非常用ディーゼル発電機の軸封部を点検したところ、Oリングが破断していることを確認した。当初計画どおりVリングへ交換するとともに原因を調査。なお、他の非常用ディーゼル発電機(2台)が待機状態にあるため、保安規定にもとづく機能要求に問題なし。 | 2023/10/25 | |

不適合情報

2023年10月31日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 1件

| NO. | 号機等 | 不適合事象 | 発見日 | 備考 |
|-----|-----|---|------------|----|
| 1 | 3号機 | 高圧炉心スプレイ系非常用ディーゼル発電機排気管伸縮継手の点検において、ガスケットの割れおよび排気ガス漏れ跡を確認した。当該箇所を清掃およびガスケット、保温材を交換。なお、非常用ディーゼル発電機の機能に影響なし。 | 2023/10/23 | |

不適合情報

2023年11月2日(木)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 8件

| NO. | 号機等 | 不適合事象 | 発見日 | 備考 |
|-----|-----|--|------------|----|
| 1 | 1号機 | 荒浜側ディーゼル駆動消火ポンプの水抜きにおいて、シートパスを確認した。調査の結果、吸込弁のシートパスと推定。当該弁を点検・修理。 | 2023/10/30 | |
| 2 | 2号機 | 原子炉建屋天井クレーン走行用足踏ブレーキ点検において、異音の発生を確認した。調査の結果、ブレーキパッドとブレーキディスクの接触による動作不良と推定。当該事象の原因を調査し点検・修理。 | 2023/10/18 | |
| 3 | 5号機 | トランスヤード排水ポンプ排油用水弁に、シートパスおよび弁接続部からの微量な滲みを確認した。当該弁および接続部を点検・修理。 | 2023/10/17 | |
| 4 | 5号機 | 原子炉区域排気隔離弁アキュムレータタンク圧力計点検において、圧力計元弁にシートパスを確認した。当該弁を修理。 | 2023/10/17 | |
| 5 | 5号機 | 原子炉区域給気隔離弁(A)点検において、シリンダー計装用圧縮空気系配管接続部に微少な空気の漏えいを確認した。当該接続部を修理。 | 2023/10/17 | |
| 6 | 5号機 | 大湊側補助ボイラー消音器修理工事において、支持構造物(4本のうち1本)に腐食を確認した。当該支持構造物を交換。 | 2023/10/19 | |
| 7 | 6号機 | 原子炉補機冷却系(A)系統点検後、サージタンク(A)の液位が低下していることを確認した。調査の結果、原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器(A)下胴側ストームドレン処理系ドレン弁のシートパスと判明。当該弁を点検・修理。 | 2023/10/30 | |
| 8 | 7号機 | 変圧器横のバルブピットにおいて、変圧器類焼防止装置配管の腐食を確認した。当該配管を修理。 | 2023/10/13 | |

不適合情報

2023年11月6日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 3件

| NO. | 号機等 | 不適合事象 | 発見日 | 備考 |
|-----|-----|--|------------|----|
| 1 | 5号機 | 中央道路交差点排水ポンプ制御盤に、過負荷/水位高を示す警報ランプの点灯を確認した。当該ポンプの電源を停止。調査の結果、異常はなく正常動作することを確認。排水ポンプおよび排水槽水位計スイッチ、排水槽を清掃。 | 2023/10/23 | |
| 2 | 6号機 | タービン建屋地下2階(管理区域)高電導度廃液系排水槽(B)室近傍の壁面から地下水(約100cc、汚染なし)が染み出し、排水側溝および排水口に流入していることを確認した。拭き取り実施済み。当該箇所を点検・修理。 | 2023/10/26 | |
| 3 | 7号機 | 排気筒点検補修工事のクレーン作業において、吊荷介錯用ロープが監視カメラに接触し、画角角度のずれおよびカメラ架台が変形したことを確認した。カメラ画角のずれを修正し架台を交換。当該事象および作業手順を作業員に周知し、再発防止対策を徹底。 | 2023/10/25 | |

不適合情報

2023年11月7日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 5件

| NO. | 号機等 | 不適合事象 | 発見日 | 備考 |
|-----|-----|--|------------|----|
| 1 | 3号機 | β ・ γ 線用警報付きポケット線量計の年次点検において、 γ 線照射時の指示値が判定基準を逸脱(1台)していることを確認した。当該線量計の使用を禁止。前回点検以降の使用実績を調査し、使用者の影響評価を実施。 | 2023/11/01 | |
| 2 | 6号機 | 非放射性スチームドレン移送系収集タンク液位記録計の点検において、A系の記録ペンに動作不良を確認した。調査の結果、記録計ペン駆動部基板の不具合と推定。当該基板を交換。なお、A系指示値をモニターに表示するよう設定変更し、監視を継続。 | 2023/10/30 | |
| 3 | その他 | 会議終了後の片付け作業において、電源コードを片付け立ち上がった際に付近にあったモニターに左頭部をぶつけ出血したことから、業務車にて病院に搬送。診察の結果、頭部挫創(4針縫合)と診断。当該事象を周知し注意喚起を行うとともに、再発防止を徹底。 | 2023/10/23 | |
| 4 | その他 | ホース展張操作訓練において、ホースコンテナを展張車に搭載する際にコンテナ扉が開放して地面と接触し、ヒンジ部が破損したことを確認した。当該ヒンジ部を修理。 | 2023/11/05 | |
| 5 | その他 | 大容量送水車操作訓練において、クレーンで吊荷の巻上・巻下ができなくなったことを確認した。調査の結果、クレーンワイヤーが乱巻状態になっていたことが原因と判明。当該クレーンを点検・修理。 | 2023/11/05 | |

不適合情報

2023年11月8日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 1件

| NO. | 号機等 | 不適合事象 | 発見日 | 原子炉安全の観点から見たグレード |
|-----|-----|--|------------|------------------|
| 1 | 7号機 | 原子炉水位計点検において、点検作業のため複数の計器信号ケーブルを取り外したところ、原子炉水位低を検知し、代替制御棒挿入機能(通常運転中の原子炉を緊急に停止出来ない場合にスクラム弁を作動させる機能)が動作してスクラム弁が作動するとともに、警報(スクラム弁開、制御棒分離、スクラムヘッド圧力低)が発生したことを確認した。当該事象の原因を調査。なお、代替制御棒挿入機能および警報は正常に動作しており、原子炉に燃料は装荷されていないため、プラントへの影響なし。 | 2023/11/07 | — |

3. G III グレード 4件

| NO. | 号機等 | 不適合事象 | 発見日 | 備考 |
|-----|-----|---|------------|----|
| 1 | 2号機 | 高電導度廃液系濃縮装置加熱器(B)に所内蒸気を供給しても、所内蒸気減圧弁出口圧力が上昇しないことを確認した。調査の結果、加熱器(B)入口蒸気減圧弁の動作不良と推定。当該弁を点検・修理。なお、A系に異常はなく、装置の運転に影響なし。 | 2023/10/25 | |
| 2 | 5号機 | 北側66kV開閉所近傍の500kV洞道排水ピットの鋼製蓋(3箇所)に、腐食を確認した。当該蓋を修理。 | 2023/10/31 | |
| 3 | その他 | 水処理設備脱水助剤供給機の点検において、脱水助剤供給機の動作不良を確認した。調査の結果、湿気による脱水助剤の固化によるものと推定。当該供給機を修理。 | 2023/10/24 | |
| 4 | その他 | 大容量送水車操作訓練後の片付け作業において、車両下部に油(約500cc)が滴下していることを確認した。拭き取りおよび中和剤を散布し処理済み。受けパン設置済み。構外(港湾)への流出がないことを確認済み。漏えい箇所を調査し点検・修理。 | 2023/10/24 | |

核物質防護に関する不適合情報

2023年10月10日(火)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

1. 公表区分Ⅰ 0件

2. 公表区分Ⅱ 0件

3. 公表区分Ⅲ 2件

| NO. | 不適合事象 | 発見日 | 備考 |
|-----|--|-----------|----|
| 1 | <p>棧橋の補修作業時に、誤ってケーブルを切断してしまったことで、侵入検知器が動作し続けることを確認した。</p> <p>調査の結果、棧橋の補修を担当した当社社員は使用中のケーブルがあることを把握していなかった。図面や現場の確認を行っていたが、過去の工事が図面に反映されておらず、周辺設備の詳細確認も怠ったことで、当該ケーブルが使用中と気付けなかったことが原因であったもの。</p> <p>切断してしまったケーブルを修理し、正常な状態に復旧した。</p> <p>なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。</p> | 2023/2/21 | |
| 2 | <p>監視カメラの映像が、草木により確認しにくい場合があることを確認した。</p> <p>監視機能は維持。</p> <p>対策として、周辺の草木を伐採し、防草シートを施工した。</p> | 2023/7/14 | |

4. 公表区分その他 6件

| NO. | 不適合事象 | 発見日 | 備考 |
|-----|--|-----------|----|
| 1 | <p>監視カメラの映像が、映らないことを確認した。</p> <p>調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。</p> <p>なお、バックアップ用のカメラであったことから、代替措置は不要と判断した。</p> | 2022/8/4 | |
| 2 | <p>侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作し続けることを確認した。</p> <p>侵入検知機能は維持。</p> <p>調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。</p> | 2023/1/12 | |
| 3 | <p>侵入検知器が、正常に動作しないことを確認した。</p> <p>調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を調整し機器を追加することで、正常な状態に復旧した。</p> <p>なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。</p> | 2023/7/16 | |
| 4 | <p>原子力規制庁による核物質防護設備の現場確認に向けた準備の中で事前に提出した設備図書と現場が異なっていることを確認した。設備図書を更新し、再度資料を提出した。</p> | 2023/7/28 | |
| 5 | <p>侵入検知器が、正常に動作しないことを確認した。</p> <p>調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。</p> <p>なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。</p> | 2023/9/23 | |
| 6 | <p>ネットワーク構成図の情報が最新ではない旨の指摘を核物質防護検査にて受けたため、ネットワーク構成図を更新の上、更新する際のルールを策定した。</p> | 2023/2/22 | |

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。
 このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

核物質防護に関する不適合情報

2023年10月17日(火)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

1. 公表区分Ⅰ 0件

2. 公表区分Ⅱ 0件

3. 公表区分Ⅲ 1件

| NO. | 不適合事象 | 発見日 | 備考 |
|-----|---|-----------|----|
| 1 | IDカードの発行の際、「個人の信頼性確認」が有効期限内かどうか確認しているが、協力企業作業員のIDカード発行時に有効期限が切れたまま発行したことを確認した。 調査の結果、IDカード発行者が有効期限を見間違えたこと、及び当該作業員が福島第一原子力発電所において既に信頼性確認の有効期限を更新していたため、当発電所においても新たに手続きが必要なことを認識していなかったことが原因と判断。対策として、有効期限の管理方法や確認の手順の見直し、更新手続きの必要性を周知した。 | 2023/5/16 | |

4. 公表区分その他 0件

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。
このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

核物質防護に関する不適合情報

2023年10月24日(火)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 0件
- 4. 公表区分その他 1件

| NO. | 不適合事象 | 発見日 | 備考 |
|-----|--|-----------|----|
| 1 | 侵入検知器の付属機器が、正常に動作しないことを確認した。 侵入検知機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該付属機器を交換し、正常な状態に復旧した。 | 2023/2/25 | |

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。
このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

核物質防護に関する不適合情報

2023年10月31日(火)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

1. 公表区分Ⅰ 0件

2. 公表区分Ⅱ 0件

3. 公表区分Ⅲ 1件

| NO. | 不適合事象 | 発見日 | 備考 |
|-----|--|-----------|----|
| 1 | 核物質防護設備(監視カメラ・侵入検知器・監視用照明)用の電源装置取替作業時に、核物質防護設備の機能を維持した状態で交換をすることとしていたが、作業の途中で電力供給が止まり、設備が動作しなくなったことを確認した。 作業を中止し、電力供給を再開することで、設備が動作することを確認した。 設備への電力供給が止まった原因は、作成した手順書の不足であったことから、追加の手順を反映の上、関係者への周知徹底を図った。 なお、不具合発生期間中の監視機能および検知機能は代替措置にて維持した。 | 2023/9/16 | |

4. 公表区分その他 6件

| NO. | 不適合事象 | 発見日 | 備考 |
|-----|---|------------|----|
| 1 | 監視カメラの映像が、一部乱れることを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を調整し、正常な状態に復旧した。 なお、バックアップ用のカメラであったことから、代替措置は不要と判断した。 | 2022/10/21 | |
| 2 | 核物質防護上の扉が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換・修理し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中は当該扉の出入りを一部制限した。 | 2023/7/14 | |
| 3 | 核物質防護上の扉の一部が変形し、施錠しづらいことを確認した。 扉の機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。 | 2023/7/15 | |
| 4 | 核物質防護上の扉の付属機器に破損を確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該付属機器を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の扉の機能に影響はなく、付属機器の機能は代替措置にて維持した。 | 2023/2/25 | |
| 5 | 監視カメラの一部機能が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、バックアップ用のカメラであったことから、代替措置は不要と判断した。 | 2023/9/28 | |
| 6 | 核物質防護上の扉が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中は当該扉を封鎖した。 | 2023/10/3 | |

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。
 このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

核物質防護に関する不適合情報

2023年11月7日(火)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 1件

| NO. | 不適合事象 | 発見日 | 備考 |
|-----|---|-----------|----|
| 1 | 防護区域境界の点検で、警備員が未許可のスマートフォンを発見した。 調査の結果、入域する所員はバッグの中にスマートフォンが入っていることを失念していたこと、周辺防護区域境界で点検した警備員は、確認の手順を一部省略していたこと、防護区域境界の点検では警備員が定められた手順を遵守していたことでスマートフォンを発見できたことを確認した。 対策として、警備員の方々と対話会を実施し、核物質防護の本質を伝えるとともに手順の確実な実行を改めて指示した。 併せて、全所員並びに協力企業の作業員に不要な物品を持ち込まないこと、および持ち込み物品の事前確認を徹底することを周知した。 | 2023/9/16 | |

- 4. 公表区分その他 4件

| NO. | 不適合事象 | 発見日 | 備考 |
|-----|--|------------|----|
| 1 | 監視カメラの映像が、一部乱れることを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該監視カメラを交換し、正常な状態に復旧した。 なお、バックアップ用のカメラであったことから、代替措置は不要と判断した。 | 2022/7/7 | |
| 2 | 金属探知機前の荷物確認の際、協力企業作業員による非協力的なふるまいがあったことを警備員との対話会の中での気付きとして確認した。 その後、当社核物質防護部門の所員が一定期間当該作業員の行動を観察し、同様な非協力的な振る舞いが無いことを確認した。 | 2023/3/27 | |
| 3 | 監視カメラの映像が、一部乱れることを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、代替措置にて維持した。 | 2021/12/17 | |
| 4 | 核物質防護上の扉が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中は当該扉の出入りを一部制限した。 | 2023/10/10 | |

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。
 このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(2023年11月)

2023年11月9日

① 発電所運転状況

| プラント名 | 現在の 運転(発電)状況 | 前回定期検査 | 過去1年間の運転状況 | | | | | | | | | | | 補足説明 |
|----------------------------------|---------------------------------------|--|-------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|--|
| | | | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | |
| 1号機 110万kW (1985.9.18運開) | 停止中 第16回定期検査中 定検停止期間:2011.8.6~ | 第15回 2007.5.4~2010.8.4 停止期間 2007.5.4 ~ 2010.6.6 (1130日) (原子炉起動2010.5.31) | 第16回定検による停止 | | | | | | | | | | | <燃料の管理> ○ 燃料は、現在、1~7号機の使用済燃料プールで保管し、安定冷却を継続中。 ○ プール水温は、管理上の上限値(65℃)を超えないように管理しており、仮に冷却が停止したとしても、4日以上は管理上の上限値に達しないものと評価しています。 |
| 2号機 110万kW (1990.9.28運開) | 停止中 第12回定期検査中 定検停止期間:2007.2.19~ | 第11回 2005.9.3~2006.5.9 停止期間 2005.9.3 ~ 2005.12.25 (114日) (原子炉起動2005.12.22) | 第12回定検による停止 | | | | | | | | | | | |
| 3号機 110万kW (1993.8.11運開) | 停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2007.9.19~ | 第9回 2006.5.12~2006.9.15 停止期間 2006.5.12 ~ 2006.7.27 (77日) (原子炉起動2006.7.24) | 第10回定検による停止 | | | | | | | | | | | |
| 4号機 110万kW (1994.8.11運開) | 停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2008.2.11~ | 第9回 2006.4.9~2007.1.11 停止期間 2006.4.9 ~ 2006.12.14 (250日) (原子炉起動2006.12.11) | 第10回定検による停止 | | | | | | | | | | | |
| 5号機 110万kW (1990.4.10運開) | 停止中 第13回定期検査中 定検停止期間:2012.1.25~ | 第12回 2006.11.24~2011.2.18 停止期間 2006.11.24 ~ 2010.11.25 (1463日) (原子炉起動2010.11.18) | 第13回定検による停止 | | | | | | | | | | | |
| 6号機 135.6万kW (1996.11.7運開) | 停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2012.3.26~ | 第9回 2010.10.31~2011.3.9 停止期間 2010.10.31 ~ 2011.1.26 (88日) (原子炉起動2011.1.23) | 第10回定検による停止 | | | | | | | | | | | |
| 7号機 135.6万kW (1997.7.2運開) | 停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2011.8.23~ | 第9回 2010.4.18~2010.7.23 停止期間 2010.4.18 ~ 2010.6.28 (72日) (原子炉起動2010.6.26) | 第10回定検による停止 | | | | | | | | | | | |

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

② 発電所設備利用率(%) (10月末現在)

| | |
|----------|-------|
| 10月 | 0.0% |
| 2023年度累計 | 0.0% |
| 運転開始後累計 | 39.5% |

③ 発電所発電電力量(万kWh) (10月末現在)

| | |
|----------|------------|
| 10月 | 0 |
| 2023年度累計 | 0 |
| 運転開始後累計 | 87,487,412 |

④ ドラム缶発生量(本) (10月末現在)

| | |
|-----------|--------|
| 当月発生本数 | 197 |
| 貯蔵庫累積貯蔵本数 | 29,593 |
| 貯蔵庫保管容量 | 45,000 |

⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (2023年度第2四半期)

| | |
|----------------|--------|
| 使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数 | 13,734 |
| 使用済燃料貯蔵プール管理容量 | 16,915 |
| 使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量 | 22,479 |

⑥ 従業員登録データ(人) (11月1日現在)

| | | 東京電力 | 協力企業 | 比率※1 |
|-----------|-----|----------|-------|------|
| 県内 | 柏崎市 | 807 | 2,282 | 55% |
| | 刈羽村 | 69 | 220 | 5% |
| | その他 | 151 | 1,003 | 20% |
| | 小計 | 1,027 | 3,505 | 80% |
| 県外 | | 125 | 996 | 20% |
| 合計 | | 1,152 | 4,501 | - |
| | | 5,653 ※2 | | 100% |
| 協力企業社数(社) | | 674 | | |

※1 端数処理のため、割合の合計は100%にならない場合があります。
 ※2 参考:11月1日の構内入籍者数4,673人

⑦ 来客情報(人) (10月末現在)

| | 10月 | 年度累計 |
|----|-------|--------|
| 地元 | 1,179 | 7,177 |
| 県内 | 666 | 3,623 |
| 県外 | 816 | 4,662 |
| 国外 | 6 | 116 |
| 合計 | 2,667 | 15,578 |

⑧ 今後の主なスケジュール

| 予定日 | 内容 |
|------------|------------------------|
| 11月18日、19日 | 映画鑑賞会(西山ふるさと公苑 多目的ホール) |
| 11月22日 | 定例所長会見(予定) |
| 11月25日 | きなせ収穫祭開催(刈羽ふれあいサロンきなせ) |
| 12月14日 | 定例記者説明会(予定) |

インターネットホームページアドレス
https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/kk-np/index-j.html

東京電力ホールディングス株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)